

【I】次の文章を読んで、下記の問い（問1～問6）に答えなさい。

722年、政府は人口増加による(a)口分田の不足を補い、税の増収をはかるため、(A)町歩開墾計画を立てたが成果はあがらず、翌723年には(b)三世一身法を出した。724年に即位した(B)天皇の治世の743年、墾田永年私財法を定め、位階などによって開墾できる面積を定めて、開墾した土地の私有を永年にわたって保障した。これにより、力のある中央貴族や寺院などは、きそって山野の開墾に乗り出した。765年に寺社をのぞいて開墾は一時禁止されたが、僧(C)が退いた後の772年には、再び開墾と墾田の永年私有が認められた。大規模な土地の開墾は、地方豪族とむすんで進められ、その土地を農民に貸し与えて土地の経営をおこなった。こうした経営方式の土地を(D)という。

問1 下線(a)口分田に関する説明として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

- ア 5年ごとに作成される戸籍に基づいて、口分田の班給が実施された。
- イ 6歳以上の男女に一定額の口分田が班給された。
- ウ 班給された口分田は、死亡すると収公された。
- エ 口分田は、売買できなかった。

問2 空欄(A)に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

- ア 十万
- イ 百万
- ウ 千万
- エ 一万

問3 下線(b)三世一身法について『続日本紀』の該当部分を下記に示しました。これについて、下線①、②の内容の違いに留意して、それぞれの内容を説明しなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

だじょうかんそう
太政官奏すらく、「このごろ ようや
さくきょう
田地窄狭なり。望み請ふらくは、
てんか
天下に勧め課せて、おお
でんちゅう ひら
田疇を開闢かしめん。①其の新たに溝池を造り、開墾を営む
者有らば、多少を限らず、給ひて三世に伝えしめん。②若し旧き溝池を逐はば、
其の一身にせん」と。

* 溝池=溝と池。水路。

問4 空欄（ B ）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 天智 イ 天武 ウ 聖武 エ 文武

問5 空欄（ C ）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 行基 イ 道鏡 ウ 鑑真 エ 源信

問6 空欄（ D ）にあてはまる語句を、漢字4文字で答えなさい。

【Ⅱ】次の文章を読んで、下記の問い（問7～問12）に答えなさい。

応仁の乱後、足利義政は、京都の（ A ）に山荘をつくり、そこに(a)義満にならって銀閣を建てた。この時期の文化は、禅の精神にもとづく簡素さと、伝統文化の幽玄・侘を精神的な基調とし、（ A ）文化とよばれる。銀閣の下層および（ ① ）同仁齋にみられる(b)（ ② ）は、近代の和風住宅の原型となった。（ ② ）の住宅や禅宗様の寺院には、禅の精神で統一された庭園がつけられた。岩石と砂利を組み合わせる象徴的な自然をつくり出した枯山水は、その代表的なものである。作庭では、(c)河原者（山水河原者）とよばれた人びとが活躍し、また芸能にひいでた同朋衆とよばれた人たちも文化を支えた。この時期には、水墨画に伝統的な大和絵の手法が取り入れられて、狩野派がおこり、日本の伝統文化を代表する(d)茶道（茶の湯）や花道（生花）の基礎もつけられた。

問7 下線(a)義満（足利義満）が、京都の北山につくった山荘は、何と呼ばれているでしょうか。漢字2文字で答えなさい。

問8 空欄（ A ）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 嵐山 イ 南山 ウ 比叡山 エ 東山

問9 空欄（ ① ）（ ② ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア ①=東求堂 ②=寢殿造

イ ①=東求堂 ②=書院造

ウ ①=六角堂 ②=寢殿造

エ ①=六角堂 ②=書院造

問 10 空欄(②)の建築様式は、下線(b)にあるように近代の和風住宅の原型となりました。その特徴として間違っているものを、次の選択肢ア～オの中から選びなさい。

ア 障子 イ 襖 ウ 違い棚 エ 几帳 オ 畳

問 11 下線(c)河原者(山水河原者)として正しい人物を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 能阿弥 イ 善阿弥 ウ 観阿弥 エ 世阿弥

問 12 下線(d)に関する記述として最も適切なものを、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 茶の湯では、この時期に千利休が侘茶を創出した。

イ 生花では、座敷の床の間をかざる立花様式が定まった。

ウ この時期に黄金の茶室がつくられた。

エ この時期に池坊専好が立花を大成した。

【Ⅲ】次の文章を読んで、下記の問い(問 13～問 19)に答えなさい。

1856年、日米和親条約の締結により(A)が初代アメリカ総領事として来日し、幕府に通商条約の締結を強く求めた。(A)との交渉にあたった老中(①)は、条約調印の勅許を求めたが、朝廷では(a)攘夷の空気が強く、孝明天皇の勅許は得られなかった。

1858年、大老(②)は、勅許を得られないまま、同年6月に(b)日米修好通商条約の調印を断行した。このころ、幕府内では13代将軍徳川家定の跡継ぎをめぐる(c)将軍継嗣問題がおきていた。(②)は、徳川慶喜を推す反対勢力をおし切って、紀伊藩主の徳川慶福を跡継ぎに決定した。こうした政治に対し強い非難の声が上がったが、(d)(②)は、反対派の公家や大名をおさえ、その家臣たち多数を処罰した(安政の大獄)。1860年、この厳しい弾圧に憤激した水戸脱藩の志士たちは、江戸城桜田門外で(②)を暗殺した。

問 13 空欄（ A ）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア ペリー イ パークス ウ ハリス エ ヒュースケン

問 14 空欄（ ① ）（ ② ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア ①＝阿部正弘 ②＝水野忠邦 イ ①＝阿部正弘 ②＝井伊直弼
ウ ①＝堀田正睦 ②＝水野忠邦 エ ①＝堀田正睦 ②＝井伊直弼

問 15 下線(a)攘夷について説明しなさい。

問 16 下線(b)日米修好通商条約の開港地として誤っている場所を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 神奈川 イ 新潟 ウ 函館 エ 兵庫

問 17 下線(b)日米修好通商条約の第 6 条を以下に掲げました。治外法権とされる条項となっています。この内容について史料を読み取りながら説明しなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

第六条 日本人に対し、法を犯せる亜墨利加人は、亜墨利加コンシエル裁断所にて吟味の上、亜墨利加の法度を以て罰すべし。亜墨利加人へ対し法を犯したる日本人は、日本役人糺しの上、日本の法度を以て罰すべし。

問 18 下線(c)の説明として最も適切なものを、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 江戸城の大奥は、徳川慶喜を推していた。
イ 徳川慶喜は、水戸藩主徳川斉昭の 7 男であった。
ウ 徳川慶喜は、御三卿清水家の当主であった。
エ 薩摩藩主島津斉彬は、徳川慶福を推していた。

問 19 下線(d)安政の大獄で死刑となった人物を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 吉田松陰 イ 藤田東湖 ウ 高野長英 エ 坂本龍馬

【IV】次の文章を読んで、下記の問い（問20～問24）に答えなさい。

第1次（A）内閣成立直後の1937年、北京郊外の（①）付近で日中両軍が衝突し、日中戦争が勃発した。日本軍は優勢に戦闘を進めたが、中国軍は南京から漢口、さらに奥地の重慶に退いて抗戦を続けたので、戦争は泥沼のような長期戦となった。（A）首相は、「国民政府を相手とせず」と声明し、国民政府との交渉による和平の可能性をみずから断ち切り、国民政府の要人（B）を重慶から脱出させて、南京に親日政権を樹立させた。しかし、戦争は終わることはなく、軍拡や増税により日本社会の軍事色は強くなっていった。1938年4月には、国民生活や経済活動を国家の統制下に置くため（②）を制定し、価格統制や^(a)配給制度も開始されることになった。

問20 空欄（A）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 東条英機 イ 広田弘毅 ウ 近衛文麿 エ 犬養毅

問21 空欄（①）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 盧溝橋 イ 西安 ウ 柳条湖 エ 旅順

問22 空欄（B）に入る語句を、次の選択肢ア～エの中から選びなさい。

ア 蒋介石 イ 汪兆銘 ウ 溥儀 エ 毛沢東

問23 空欄（②）にあてはまる語句を、漢字6文字で答えなさい。

問24 下線(a)配給制度に関連して、切符制の対象となった品目ア～ウについて、早い順に並べなさい。

ア 衣料 イ 砂糖 ウ 石油